

五城小修学旅行だより



令和5年度
No.7 (6月)



学校教育目標「笑顔とあいがとうのあふれる五城の子ども」

奇跡の修学旅行!

警報級の雨が予報されていた6月8・9日。奈良・京都へ向け出発しました。1日目は高速道路がスムーズで予定より1時間くり上がって進行。そのおかげで降り始める頃には宿泊先に向かうバスに乗っていました。そして2日目。宿を出るときは小雨。京都に着くときには青空ものぞく天候回復。

実は、昨年、5年生の時の海の学校も雷雨の中だったのですが、活動する時は、なぜか雨が上がっていたのです。そのときの学校だよりに使った言葉は「奇跡のような・・・」でした。本当に奇跡!としか言いようのない2日間でした。



結団式で代表あいさつをする五城小児童



実際の大仏は予想よりすごく大きなものでした。鼻の穴は30cmくらいの大きさでした。始めは通れなかったけど、2回目ですることができました。鹿がいっぱいて、さわると温かったです。角も温かったです。



6月1日から復活していた柱の穴くぐり。4年ぶりです。奇跡!



「清水の舞台」というのは、観音様に踊りを見せるための本当の舞台だと、ガイドさんに教えてもらいました。昔、清水寺が建てられたときはこんなに高い建物はなく珍しいものだったということも分かりました。昔は本当に飛び降りていたそうですが、明治からは禁止されています。



清水寺の三つに分かれて流れる水を飲みました。ふつうの水と同じなのに、とてもおいしく感じました。



お土産屋さんがいっぱいあって、物もいっぱいあって、選ぶのが大変でした。2日目の映画村のお化け屋敷やお土産を買うお金も残すように、いろいろ考えました。

湯のみに筆で絵をかくのが難しかったです。だけど楽しかったです。できあがった湯のみを早く見てみたいです。

宿にはいろいろなおふろがあって、びっくりしました。ぼくは回遊ぶろが気持ち良かったです。時間がもっとあれば、ゆっくりいろいろなおふろに入ってみたかったな、と思いました。



夕食は近江牛のすき焼き付き



最初は不安だったけど、五城以外に知っている友達があったので、安心しました。友達から手をふってもらえてうれしかったです。



部屋もひろびろとしていました



宿の窓からは琵琶湖が一望



二条城はろうかを歩くとキュッキュッと音がして、すごいと思いました。ウグイスばりというのだそうで、たくさんの鳥が鳴いているようでした。部屋もたくさんあって、トラとヒョウがいるふすまや、ツルのいるふすまなどがあって、きれいでした。ふすまの上にもクジャクのもようがあって、すごいなと思いました。

銀閣寺は砂に月の光がはんしゃして、昔の人には建物が銀色に光って見えたので、この名前が付いたということでした。銀閣寺も金閣寺も、どちらも庭がきれいだったけど銀閣寺のほうがきれいだと思います。



金閣寺は金ぱくをたくさんはっていて、きれいでした。金ぱくは10cmの折り紙くらい大きさで20万枚も使っているそうです。建てる時に7億4千万円もかかっていたびっくりしました。写真をとったところから見ると、池に金閣が写っていて、それもきれいでした。



おばけ屋敷は今まで行ったどこのおばけ屋敷よりもおもしろかったです。いろいろとびっくりしました。最後におばけのかっこうをした人が手をふってくれて、うれしかったです。



おもしろ寺子屋で、昔のお金のことが面白かったです。金の小判は今の金で8万円くらいだと教えてもらっておどろきました。テレビに出てくる刀が2種類あることも分かりました。



願いのこもったコマ

6年生のカバンにはかわいいテルテル坊主。1年生が願いを込めて作ってくれたものです。このテルテル坊主たちは凄まじい威力を発揮してくれました。きっと6年生が毎日1年生のお世話を頑張っていることのごほうびだったのでしよう。